

痙縮・不随意運動に対する ボツリヌス療法

2023年

 医師によるZOOMウェビナー**3月16日(木) 12:15~12:45**

運動障害の原因として、麻痺や筋力低下だけではなく、意図していないのに力が入ってしまうことがあげられます。その代表に、筋肉が強張る症状の「痙縮」や、体の一部が勝手に動いてしまう「不随意運動」があります。こわばる筋肉や不随意運動を所持しえる筋肉に薬液を注射して症状を緩和するのがボツリヌス療法です。

今回は、ボツリヌス療法の効果のしくみ、対象となる状態や疾患、効果と限界について解説します。

目次

1. ボツリヌス療法のしくみ
2. ボツリヌス療法が対象となる状態や疾患
3. 注射の実際
4. 期待できる効果と限界
5. 他の治療との関連



本講座はZOOMを使ったオンラインセミナーです。受講するには、ZOOMを利用できる環境が必要です。

お申込みはWEBから**右記QRコード※ または センターHP よりお申込みください**

- ・ 申込の際は、メールアドレスの入力間違いに御注意ください。
 - ・ 申込が完了するとno-reply@zoom.usからメールが届きます。
 - ・ 受信拒否設定等されている方は、こちらのメールアドレスからの受信を許可してください。
 - ・ 申込個人情報の取扱い：お申込みの際に取得した個人情報は、受講管理にのみ使用し、他の目的には使用しません。
 - ・ ウェビナー参加にかかる通信料等は、視聴される方の負担となります。
 - ・ 本研修の録画・録音、及び資料の2次利用、詳細内容のインターネット上への投稿等はお断りいたします。
- これらの行為が発覚次第、著作権侵害として対処させていただきます。

※ QRコードは、株式会社デンソーウェブの登録商標です。

＼当日までお申込み可能です！／



問合せ先：埼玉県総合リハビリテーションセンター 職員・企画担当
電話：048-781-2222 メール：n8122221a@pref.saitama.lg.jp

講師

センター長（脳神経内科）

市川 忠

- ・ 医学博士
- ・ 日本神経学会認定神経内科専門医・指導医・代議員
- ・ 身体障害者福祉法第15条指定医師
- ・ 難病指定医

医師に直接

質問できるチャンス！

対象者

- ・ 痙縮・不随意運動のある方に関わる医療関係者・福祉施設職員・スタッフなど
- ・ 痙縮・不随意運動のある患者・ご家族様